

1

江戸町中学校二年一組の鈴木さんは、朝の学級会の「一分間スピーチ」で、本の紹介を行いました。
 そこで【メモ1】に自分の考えを書き出し、それを基に【メモ2】で発表の構成を考えて、一分間スピーチ【実際のスピーチの内容】を行いました。次の【メモ1】・【メモ2】・【実際のスピーチの内容】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【メモ1】

① 紹介したい本：「吾輩は猫である」(夏目漱石)

A 私が読んだきっかけ：姉の紹介(姉も猫が好き)

② おすすめポイント：猫の視点で語られている

猫が皮肉な目で人間を見ている

猫が人間の食べ物を食べる

③ ぜひ読んでほしい人：動物好きの人

人間観察が好きな人

④ 話すとき興味をもってもらおう話題

：動物は好きですか？

↓家で飼っている猫の話

【メモ2】

発表の構成

はじめ

中

終わり

はじめ

皆さんは、好きな動物はいますか？

私は、猫が大好きです。わが家では、猫を二匹飼っています。

一匹は、全身真っ黒の「クロ」、もう一匹は、「マル」という名前前で、茶色と白のしま模様です。別々にもらってきたのですが、兄弟のように仲の良い二匹です。

さて、これから私が紹介する本にも、猫が出てくるのです。

本のタイトルは「吾輩は猫である」、作者は「夏目漱石」です。タイトルや作者名を、聞いたことがある人はいますか？ 長くて難しい言葉もあるので、実際読んでこ
とがあるという人は、少ないのではないかと思います。

A

中

「吾輩は猫である。名前はまだない。」という一文から始まるこの話は、猫が、人間の世界を語る形式で進んでいきます。

自分たちとは違う人間の行動を、「変だなあ」と思いながら少し皮肉な目で見ている猫ですが、人間の生活や文化に興味をもち、行動に移します。特に印象に残ったのは、もちやたくあんなど、いろいろな人間の食べ物に挑戦するところです。このような猫の行動は、ラストシーンにもつながってくるので、注目ポイントです。

動物好きな人には特におすすめです。また、実は自分も人間観察が好きだ、という人は、この猫の行動や考え方を、そのとおりだと感じるかもしれません。図書室の日本文学コーナーにありますので、ぜひ、読んでみてください。

終わり



一 【実際のスピーチの内容】で、鈴木さんは、発表の出だしを「問いかけ」で始めています。その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 動物好きの人がどれくらいいるか知り、この後の話の展開を考えるため。
- 2 聞き手にも発表させ、その場でやりとりをしながら体験談を教え合うため。
- 3 多くの人が興味をもちそうな話題から始め、聞き手の関心を引きつけるため。
- 4 聞き手の反応を見ながら話題を変え、できるだけ分かりやすい内容にするため。

二 鈴木さんは、【メモ1】の——Aの内容を、【実際のスピーチの内容】では A の部分で話しました。——Aの言葉を使って、A に入る一文を書きなさい。

三 【実際のスピーチの内容】を基に、【メモ1】の①から④を、【メモ2】のはじめ、中、終わりの構成に分けなさい。解答欄には、番号のみ記入すること。

四 【実際のスピーチの内容】の構成には、どのような特徴がありますか。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 作者の紹介を中心に話を展開しながら、最後にこの本を読むことをすすめている。
- 2 本の内容に関連する日常生活の話題から始め、そのつながりで本題に入っている。
- 3 最初にタイトルや作者名、あらすじなどの本に関する基本的な情報を提示している。
- 4 最初に本の具体的な内容を説明し、最後にもう一度その内容をまとめて確認している。

五 「そのとおりだと感じる」という意味の言葉として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 同情 2 了解^{りようかい} 3 感心 4 共感

六 鈴木さんは発表の後、担任の先生から、次のようなアドバイスをいただきました。

アドバイスの中の **B** に入る言葉として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

鈴木さんは、できるだけ多くの人に読んでほしいという思いを込めて、自分の好きな作品の特徴やおもしろさを分かりやすく伝えていましたね。私も改めて読んでみたいと思いました。

ただし、説明の中の「**長くて難しい言葉もあるので、実際読んだことがあるという人は、少ないのではないかと思います。**」という言葉は、**B** ですので、前向きな言葉に変えたほうがよいのではないですか。

- 1 読んでみたいという気持ちをおさえてしまう
2 自分なりに挑戦しようという思いを強くする
3 実際に読んだことのある人の数を知りたくなる
4 夏目漱石の別の作品に興味が移ってしまう

